



SUNNY SIDE UP
GROUP

株式会社サニーサイドアップグループ

2026年6月期第1四半期

決算補足説明資料

連結決算ハイライト

- ・ 売上高・営業利益は増収増益を達成、いずれも第1四半期として過去最高を更新
- ・ 主力のブランドコミュニケーション事業で受注拡大、増収に伴う効率改善と単価上昇の双方で収益性を向上
- ・ 第1四半期の業績は順調に進捗、現時点での通期業績予想を据え置き
- ・ 2025年8月に発表した自己株式の取得終了、取得株式総数は28万株、総還元性向は48.8%を予想
⇒ 堅調な業績を維持して収益力の更なる向上を図るとともに、将来の成長を確実にする戦略的布石を打つ

売上高・営業利益
営業利益以下の段階利益

第1四半期
比較 過去最高

ブランドコミュニケーション事業
売上高成長率

+ 59.3%

ブランドコミュニケーション事業
営業利益率

[前年同期
14.7%] 19.4%

対通期連結業績予想
営業利益進捗率

[前年同期
10.9%] 32.4%

総還元性向(予想)
自己株式の取得(終了)を考慮

48.8%

アジェンダ

1. 2026年6月期第1四半期 連結決算の概況
2. 2026年6月期 通期業績予想・配当予想
3. 事業状況
4. 中期成長戦略の進捗
5. Appendix

1.

2026年6月期第1四半期 連結決算の概況

連結業績サマリー

- 売上高・営業利益は增收増益を達成、営業利益以下の段階利益も増益を確保
- 增收効果により人件費や賃借料等の固定費増加を吸収、主力事業のアップセル施策も奏功して収益性が向上
- 行使期限満了に伴う新株予約権戻入益1.1億円を特別利益に計上、四半期純利益の増益幅が拡大

(単位：百万円)

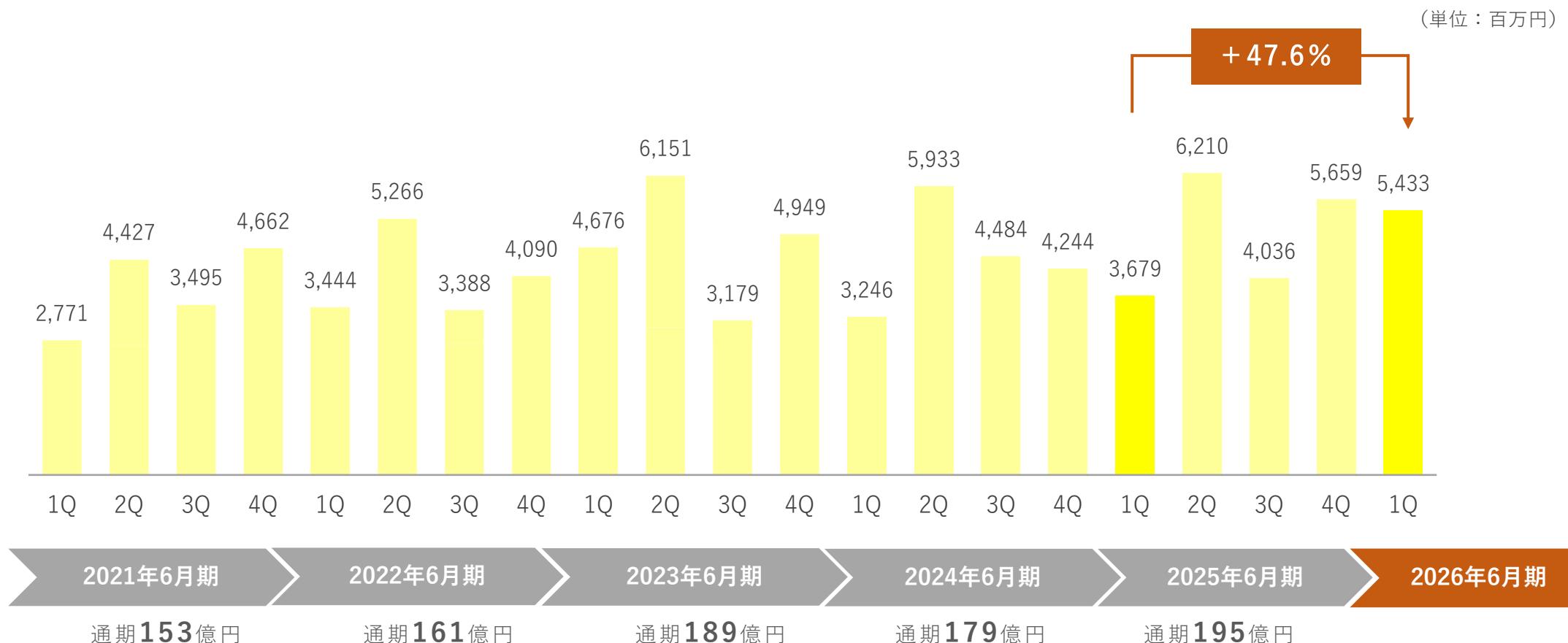
	2024年6月期 第1四半期 実 績	2025年6月期 第1四半期 実 績	2026年6月期 第1四半期 実 績	対前年同期 増減率	2026年6月期 通期業績予想 (期初公表)	進捗率
売 上 高	3,246	3,679	5,433	+ 47.6%	20,500	26.5%
営 業 利 益 (営 業 利 益 率)	278 (8.6%)	180 (4.9%)	616 (11.3%)	+ 241.7% (+ 6.4pt)	1,900 (9.3%)	32.4%
経 常 利 益	286	193	621	+ 221.2%	1,900	32.7%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	96	128	479	+ 273.6%	1,130	42.4%
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	6.50円	8.60円	32.30円	—	76.09円	—

(注) 2025年6月期より賞与関連費用を計画段階で四半期ごとに平準化し、四半期の業績進捗を勘案して計上するよう変更しております。

2026年6月期通期業績予想の1株当たり当期純利益は、自己株式取得の影響を考慮して算出しております。

四半期別売上高推移

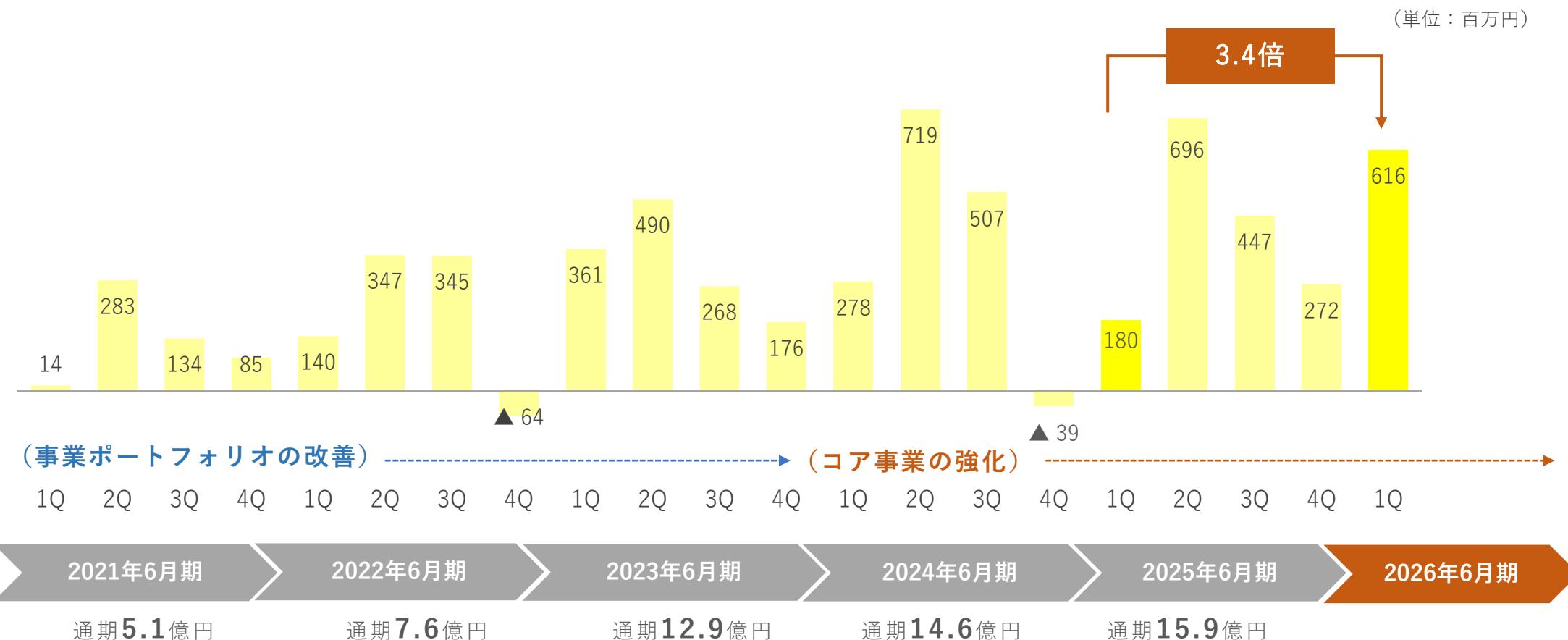
- 第1四半期売上高は前年同期の約1.5倍に伸長、前年の第4四半期に続いて二桁増収達成
- 主力のブランドコミュニケーション事業が牽引、商品企画・販促施策で大型受注寄与、PRも受注積み上がる



(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

四半期別営業利益推移

- 第1四半期営業利益は前年同期の3.4倍に伸長、ブランドコミュニケーション事業の改善が続く
- 前年より賞与関連費用を計画段階で平準化し業績進捗を勘案して計上、前年・当年は同条件下につき比較可



(注) 2025年6月期より賞与関連費用を計画段階で四半期ごとに平準化し、四半期の業績進捗を勘案して計上するよう変更しております。

セグメント別業績

- 全セグメントで增收増益達成、主力のブランドコミュニケーション事業が業績拡大を牽引
- 他のセグメントも業績回復、フードブランディング事業では単価上昇、インバウンド需要堅調で客数も増加
ビジネスディベロップメント事業では主力事業との連携を強化

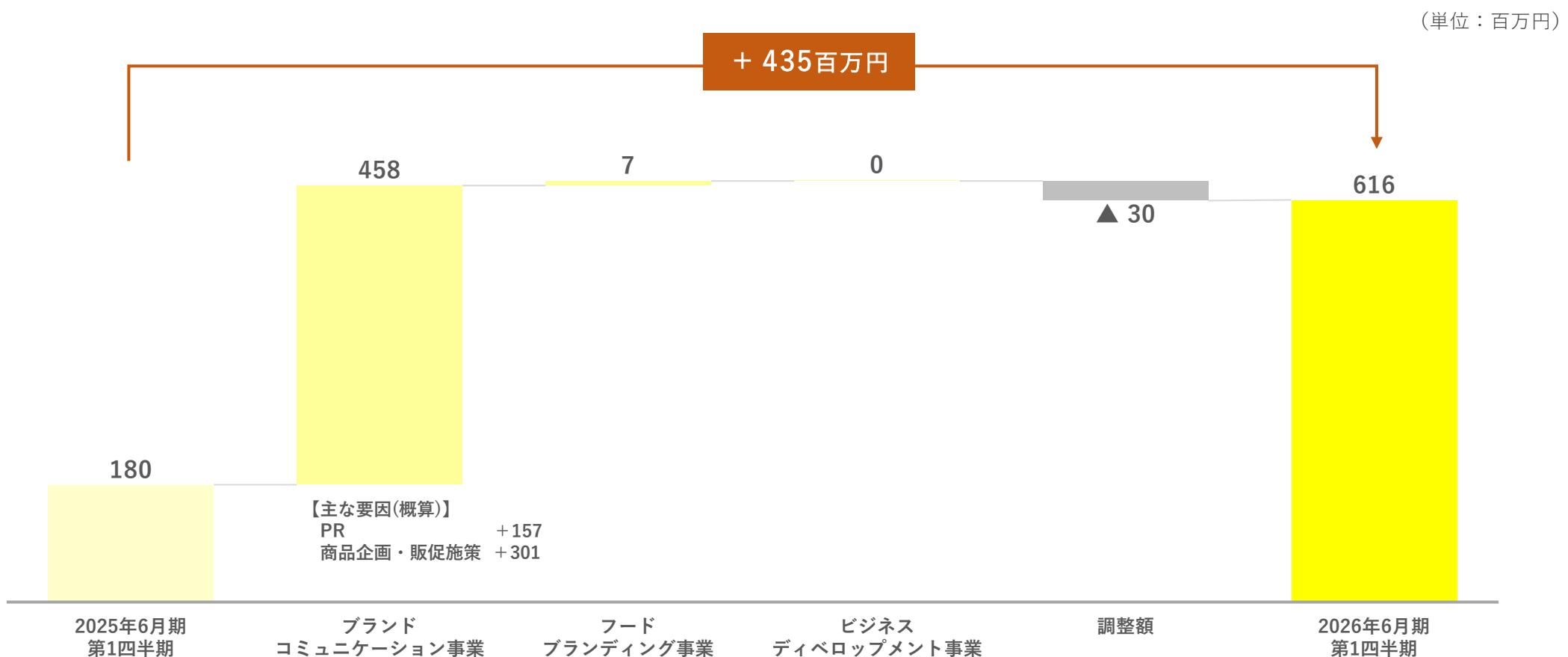
(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益率)			
	2024年 6月期 第1四半期	2025年 6月期 第1四半期	2026年 6月期 第1四半期	対前年 同期 増減率	2024年 6月期 第1四半期	2025年 6月期 第1四半期	2026年 6月期 第1四半期	対前年 同期 増減率
ブランド コミュニケーション事業	2,360	2,835	4,517	+59.3%	491 (20.8%)	416 (14.7%)	874 (19.4%)	+110.0% (+4.7pt)
フード ブランディング事業	838	825	890	+7.8%	49 (5.9%)	38 (4.6%)	45 (5.1%)	+20.0% (+0.5pt)
ビジネス ディベロップメント事業	47	19	26	+36.3%	3 (7.5%)	4 (23.3%)	5 (19.5%)	+14.2% (▲3.8pt)
調整額（全社費用ほか）	—	—	—	—	▲266	▲278	▲309	—

(注) 2025年6月期より賞与関連費用を計画段階で四半期ごとに平準化し、四半期の業績進捗を勘案して計上するよう変更しております。

営業利益変動要因

- 主力のブランドコミュニケーション事業で利益拡大、PR、商品企画・販促施策の双方で効率を改善



連結財務諸表

	2024年9月末		2025年6月末		2025年9月末		
	百万円	構成比	百万円	構成比	百万円	構成比	前期末差異
流動資産	5,232	73.7%	8,626	82.9%	6,764	78.9%	▲1,861
現金及び預金	2,402	33.8%	4,655	44.7%	2,319	27.0%	▲2,336
売掛金	1,834	25.8%	2,979	28.6%	2,908	33.9%	▲70
未成業務支出金	380	5.4%	486	4.7%	688	8.0%	201
その他の流動資産	615	8.7%	504	4.8%	847	9.9%	342
固定資産	1,869	26.3%	1,783	17.1%	1,810	21.1%	27
資産合計	7,102	100.0%	10,409	100.0%	8,575	100.0%	▲1,834
負債合計	3,054	43.0%	5,708	54.8%	3,845	44.8%	▲1,863
買掛金	1,011	14.2%	2,883	27.7%	1,424	16.6%	▲1,459
有利子負債	847	11.9%	787	7.6%	672	7.8%	▲115
その他の負債	1,195	16.8%	2,037	19.6%	1,748	20.4%	▲288
純資産合計	4,047	57.0%	4,701	45.2%	4,730	55.2%	29
資産・負債合計	7,102	100.0%	10,409	100.0%	8,575	100.0%	▲1,834

現預金の減少要因
 ・買掛金の支払
 ▲1,459
 ・有利子負債の返済
 ▲115

純資産の変動要因
 ・自己株式取得
 ▲149
 ・新株予約権取崩し
 ▲114
 ・利益剰余金の増加
 +255

2.

2026年6月期 通期業績予想・配当予想

2026年6月期連結営業利益目標達成プロセスと差異

- 2023年5月に公表した中長期経営方針では年平均20%増益、連結営業利益20億円を目標に設定
- 方針策定時に織り込んでいなかった固定費増加も影響し、2026年6月期業績予想は当初目標を下回るもの、主力のブランドコミュニケーション事業を中心に改革が進捗、収益力の更なる向上を図る
⇒課題としていた売上高の成長スピードは改善基調、持続的な成長の実現へ次期成長戦略の検討を進める

連結営業利益目標達成プロセスと差異

(単位：百万円)



子会社のオフィス拡張移転費用
採用の強化

固定費（本社・子会社
オフィス賃借料等）の増加

2023年6月期

2024年6月期

2025年6月期実績

2026年6月期予想

▲ 2023年5月中長期経営方針公表時点 (2025年6月期は2024年8月13日公表)

● 2025年8月13日公表

2026年6月期 通期業績予想

- ・ 連結営業利益目標19億円に設定、中期方針期間の最終年度として収益力の向上を図る
 - ・ 主力のブランドコミュニケーション事業は概算で5.0%増収、営業利益率17.8%を想定
 - ・ 採用強化や職場環境整備に注力してきた人財投資は教育拡充・制度改定等へシフト、生産性の向上を図る
- ⇒第1四半期の業績は順調に進捗、現時点で通期業績予想は据え置き

(単位：百万円)

	2025年6月期 実 績	2026年6月期 業績予想	対前年同期 増減率
売 上 高	19,587	20,500	+4.7%
営 業 利 益 率 (営 業 利 益 率)	1,597 (8.2%)	1,900 (9.3%)	+18.9% (+1.1pt)
経 常 利 益	1,635	1,900	+16.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	948	1,130	+19.1%
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	63.58円	76.09円	—

(注) 2026年6月期通期業績予想の1株当たり当期純利益は、自己株式取得の影響を考慮して算出しております。

自己株式の取得

- 次期成長戦略を見据えた機動的な資本政策・株主還元の拡充を目的として、自己株式を取得
⇒2025年11月4日までに28万株を取得して終了、総還元性向は48.8%を予想

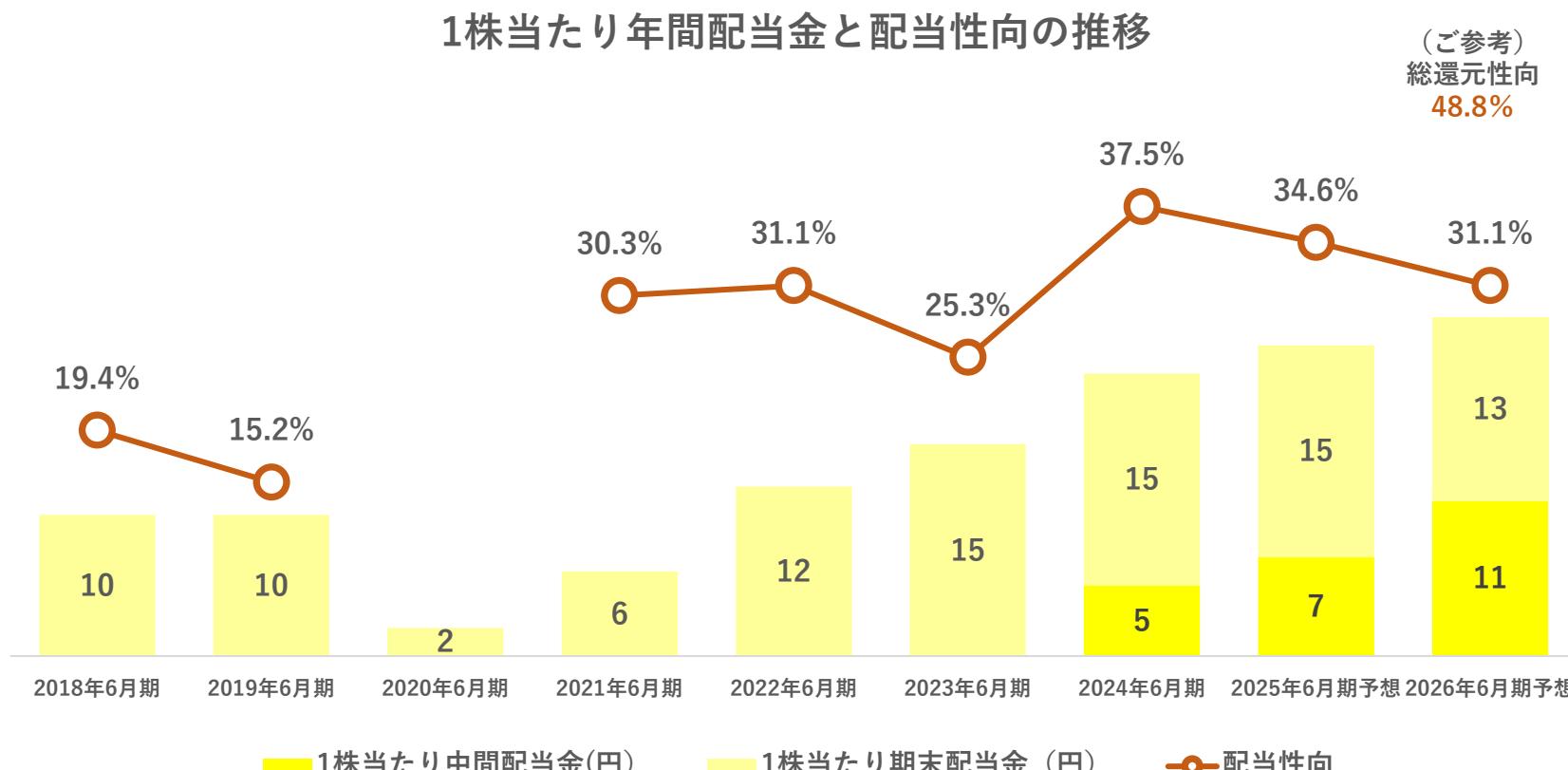
【自己株式取得の概要】

取得対象株式の種類	当社普通株式		
取得し得る株式の総数	300,000株（上限） ※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.0%		
株式の取得価額の総額	200百万円（上限）		
自己株式取得の日付	2025年8月14日～2026年2月28日		
取得方法	東京証券取引所における市場買付		
(2025年6月30日時点) 発行済株式総数（自己株式除く）	14,920,144株		
自己株式数	277,456株		
取得状況	取得した株式数	9月末累計 213,200株	11月4日累計 280,600株（取得進捗率93.53%）
	取得価額の総額	149百万円	199百万円（取得進捗率99.97%）

(注) 2026年6月期総還元性向(予想)は自己株式の取得(終了)の影響を考慮して算出しております。

2026年6月期 配当予想

- 親会社株主に帰属する当期純利益の増加を前提に、配当性向30%以上を維持する方針
- 2026年6月期の1株当たり年間配当金は、2円増配の24円を予想（中間11円、期末13円）
安定的な株主還元へ、中間・期末配当金の均等化を目指す



(注) 2026年6月期配当性向及び総還元性向(予想)は自己株式の取得(終了)の影響を考慮して算出しております。

3.

事業状況

事業概要

- 2つの事業とグループの事業領域を拡充する新規事業の3事業で構成
- 2023年5月公表の中長期経営方針において、ブランドコミュニケーション事業をコア事業と位置づけ
- 2025年10月1日付で合弁会社「株式会社KEI CONCEPT Japan」を設立（持分法適用会社、33.4%出資）
フランスでミシュラン三つ星を獲得したレストランのオーナーシェフ小林圭氏のブランドのライセンスを管理
⇒次期成長戦略を策定する中でブランドコミュニケーション事業のIPコンテンツを活用した商品企画の成長、
フードプランディング事業におけるプランディング・ライセンシーの実績等を踏まえて事業化を判断

報告セグメント

ブランド コミュニケーション事業	 SUNNY SIDE UP
	 KUM-NAMU ENTERTAINMENT
	 airside <small>CREATIVE PR AGENCY</small>
	steady study
フードプランディング 事業	 FLYPAN
	 SUNNY SIDE UP KOREA
ビジネス ディベロップメント事業	TKG CONSULTING
	 & Good&Co.
持分法適用関連会社	
株式会社AnyUp／株式会社KEI CONCEPT Japan	

- 企業・団体等の活動や商品・サービスの価値を広く伝える
コミュニケーションサービスを展開
- PR戦略策定・施策立案のほか、キャラクター等のIPコンテンツ
を活用した商品企画、商品キャンペーン等の販促施策を手掛ける
- 2020年3月に株式会社ステディスタディを子会社化
- 2023年9月に株式会社サニーサイドアップを存続会社とする
連結子会社3社間の吸収合併が完了、報告セグメントを統合
- オールデイダイニング「bills」の日本・韓国のプランディング、
ライセンス管理、店舗展開（直営店舗：日本7、韓国2）
- 社会課題解決に資するコンサルティングサービスを展開、
ブランドコミュニケーション事業と連携強化

ブランドコミュニケーション事業 業績推移

- PRは前年の第3四半期から増収継続、提案案件の受注が積み上がる
注力してきたアップセル施策が奏功して単価が上昇、マーケティング戦略包括支援も徐々に広がる
- 商品企画でIPコンテンツを活用したHappyくじが伸長、販促施策では大型受注を獲得



通期 153億円

通期 144億円

通期 162億円

通期 22.9億円

通期 25.3億円

通期 27.2億円

ブランドコミュニケーション事業 四半期別売上高

(単位：百万円)

	2023年6月期				2024年6月期				2025年6月期				2026年6月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高（四半期）																
PR	1,562	2,198	1,884	2,562	1,707	2,249	2,360	1,945	1,534	2,167	2,431	2,621	1,796	—	—	—
商品企画・販促施策	2,316	3,114	405	1,341	653	2,834	1,308	1,388	1,301	3,198	803	2,167	2,720	—	—	—
計	3,878	5,313	2,290	3,904	2,360	5,083	3,669	3,333	2,835	5,365	3,235	4,788	4,517	—	—	—
売上高（累計）																
PR	1,562	3,760	5,645	8,207	1,707	3,956	6,317	8,263	1,534	3,702	6,133	8,755	1,796	—	—	—
商品企画・販促施策	2,316	5,431	5,836	7,178	653	3,487	4,796	6,184	1,301	4,499	5,302	7,470	2,720	—	—	—
計	3,878	9,191	11,481	15,385	2,360	7,444	11,113	14,447	2,835	8,201	11,436	16,225	4,517	—	—	—

ブランドコミュニケーション事業 業種別売上構成【PR】

- 多種多様な業種に対応、伸長業種は①コスメ・ファッショント、②商業施設・ホテル、③スポーツ、④食品・飲料
食品やコスメでマーケティング戦略包括支援を受注、ファッションでは株式会社ステディスタディが好調
- 世界的なイベント開催を好機として、大阪・関西万博に係るPRも業績寄与



ブランドコミュニケーション事業 ハイライト【商品企画「Happyくじ」】

- 人気キャラクターのオリジナルグッズが必ず当たる「Happyくじ」を2012年6月より展開
- 株式会社サニーサイドアップは企画販売元として、ヒットしそうなコンテンツを発掘
版権元と共同で商品を企画して販売先(コンビニエンスストア等)へ提案、グッズ制作を手掛ける
- スポット契約中心で受注変動はあるものの、コロナ禍を経て市場が拡大、近年は企画規模も大型化

商品企画・販促施策売上高における
Happyくじの成長イメージ

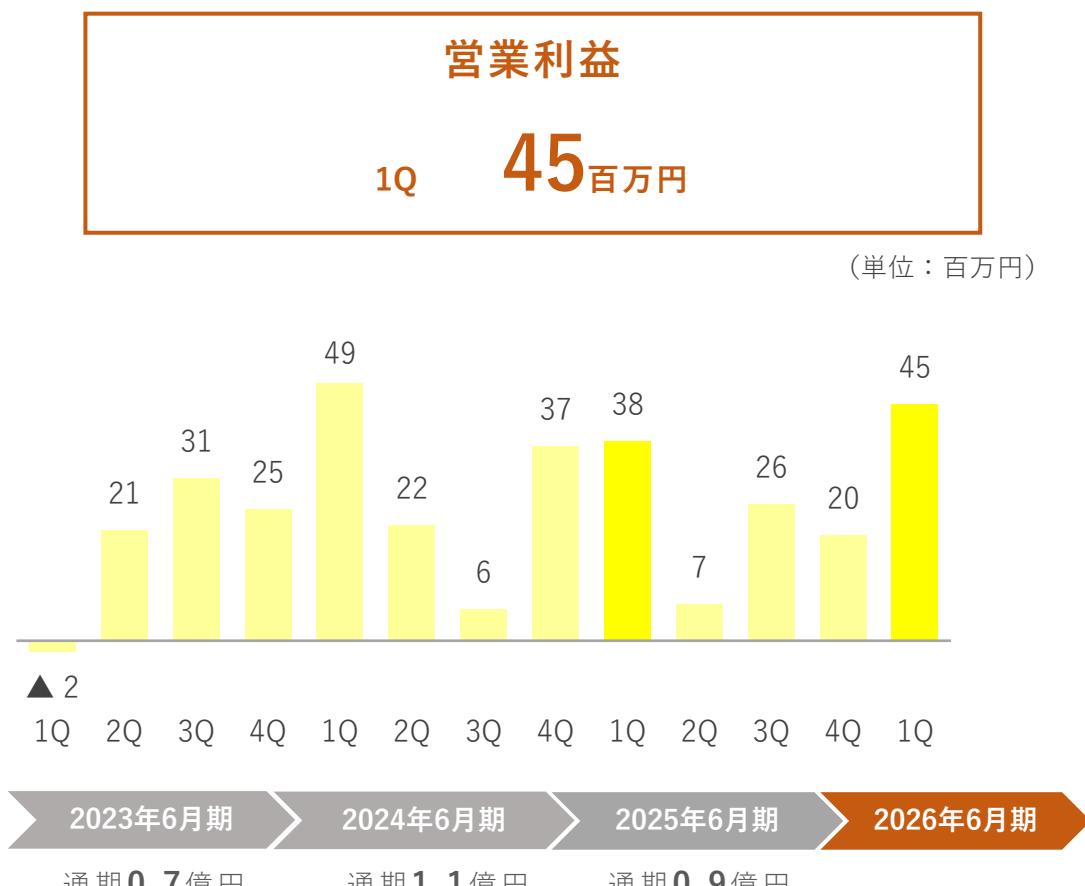
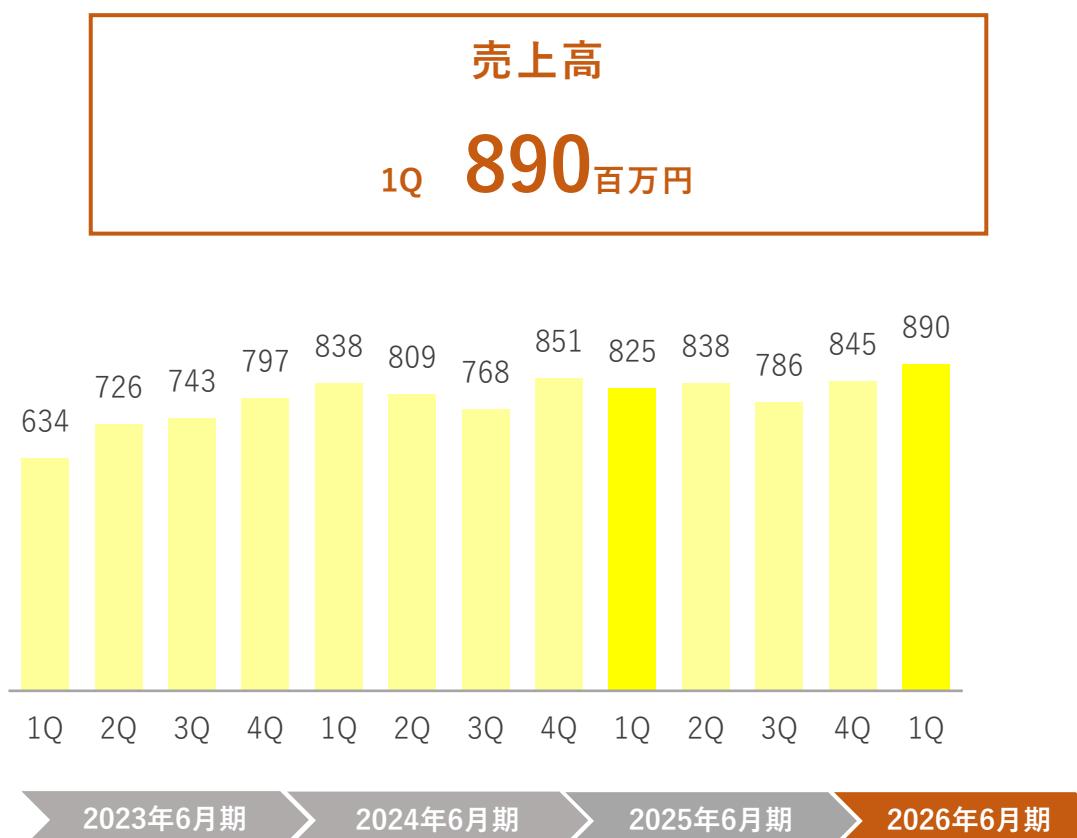


(参考資料) 次のHPにHappyくじの概要を記載しております。<https://www.h-kuji.com/>

■ その他商品企画・販促施策 ■ Happyくじ

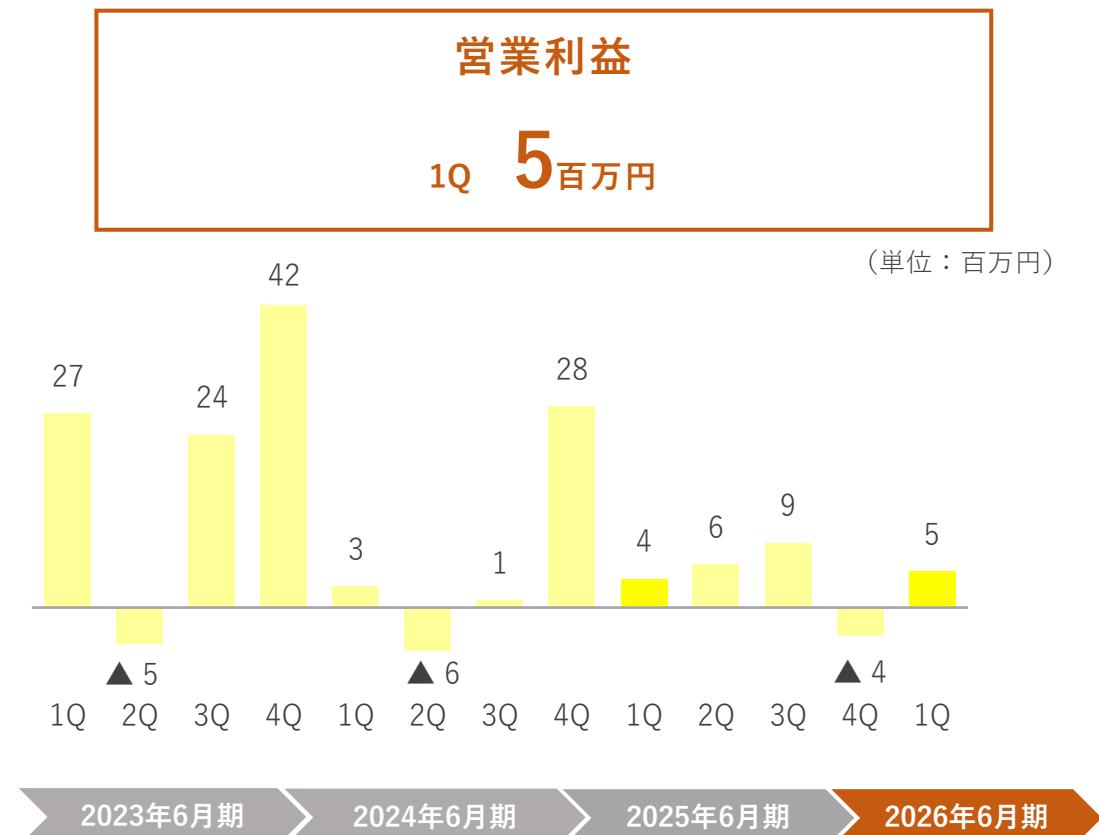
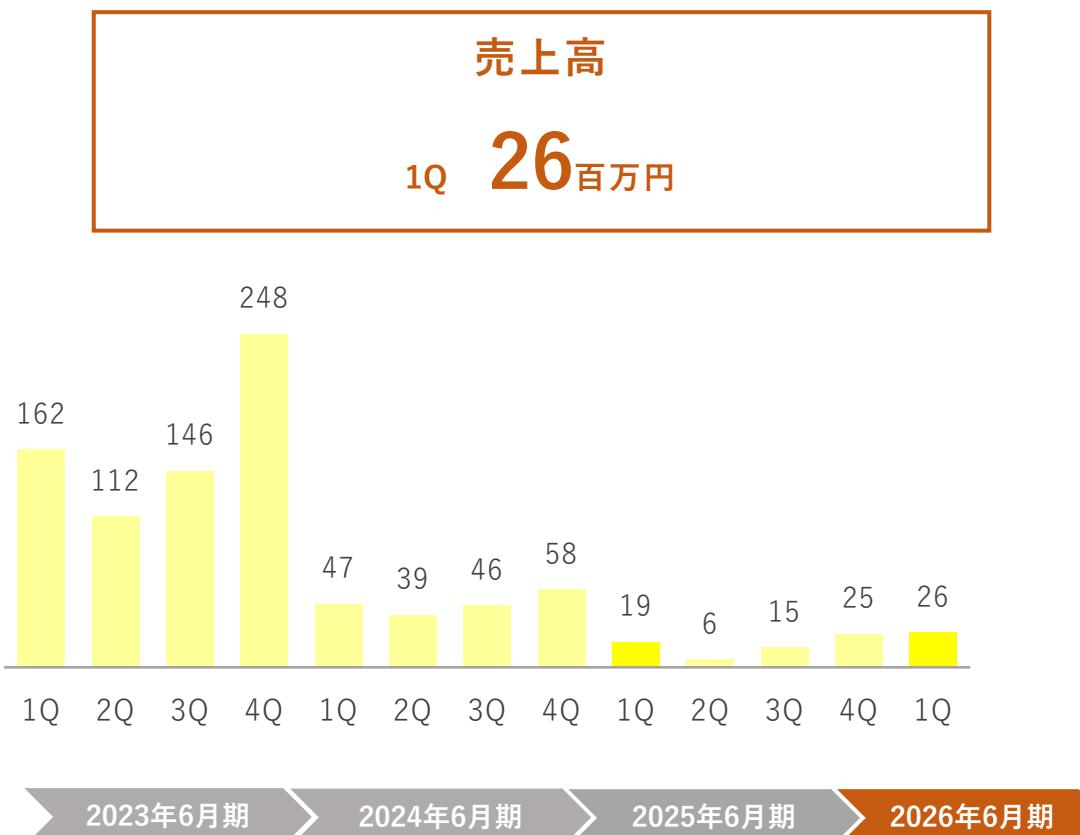
フードブランディング事業 業績推移

- 増収増益を達成、「bills」では年2回のメニュー改編効果もあり、客単価が高水準で推移
好調なインバウンド需要を背景に客数も増加、特に大阪店は客数増に伴い2割増収達成
- ブランディングに関する知見・ノウハウを活かし、韓国で日本食(味噌煮込みうどん)のFC展開着手、9月出店



ビジネスディベロップメント事業 業績推移

- 新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充、ブランドコミュニケーション事業と連携強化
- 增收増益を達成、女性活躍推進や環境関連のコンサルティング受注が寄与

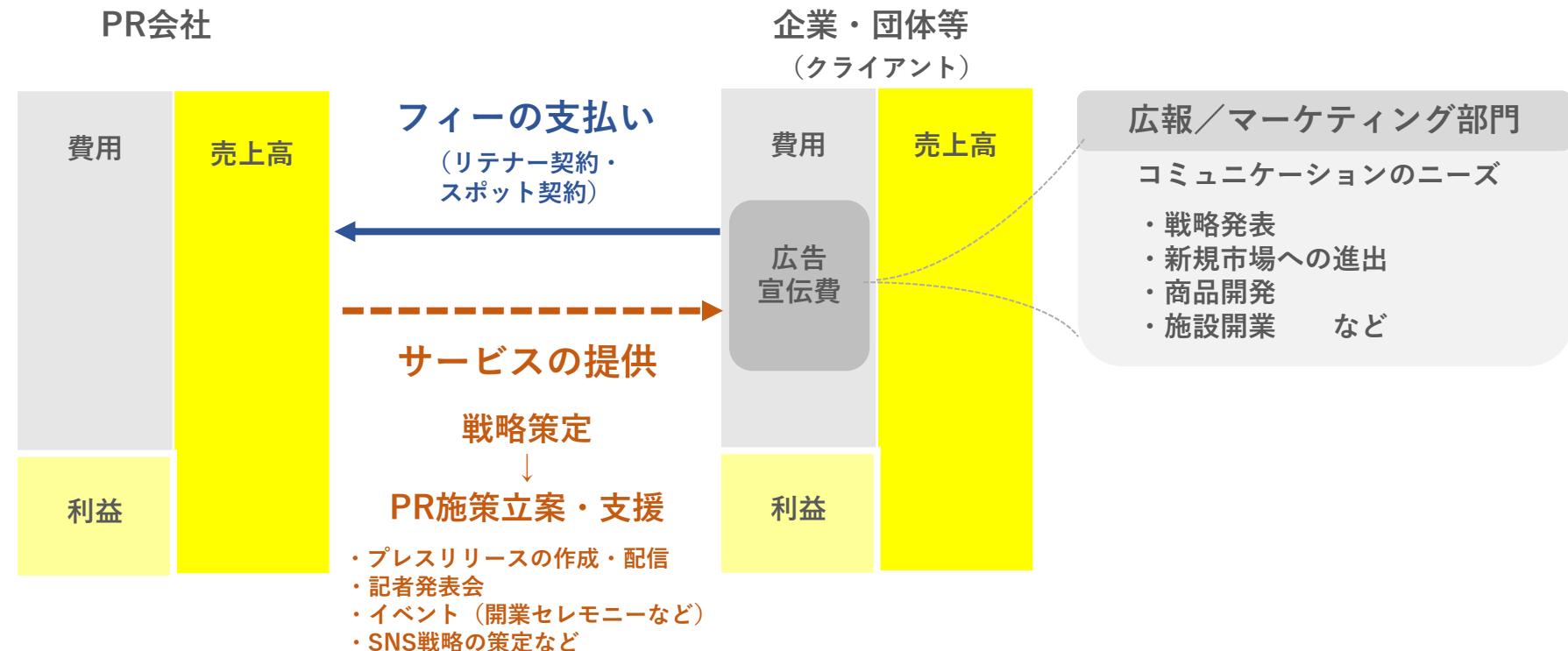


4.

中期成長戦略の進捗

【従来】PR会社の一般的な収益モデル

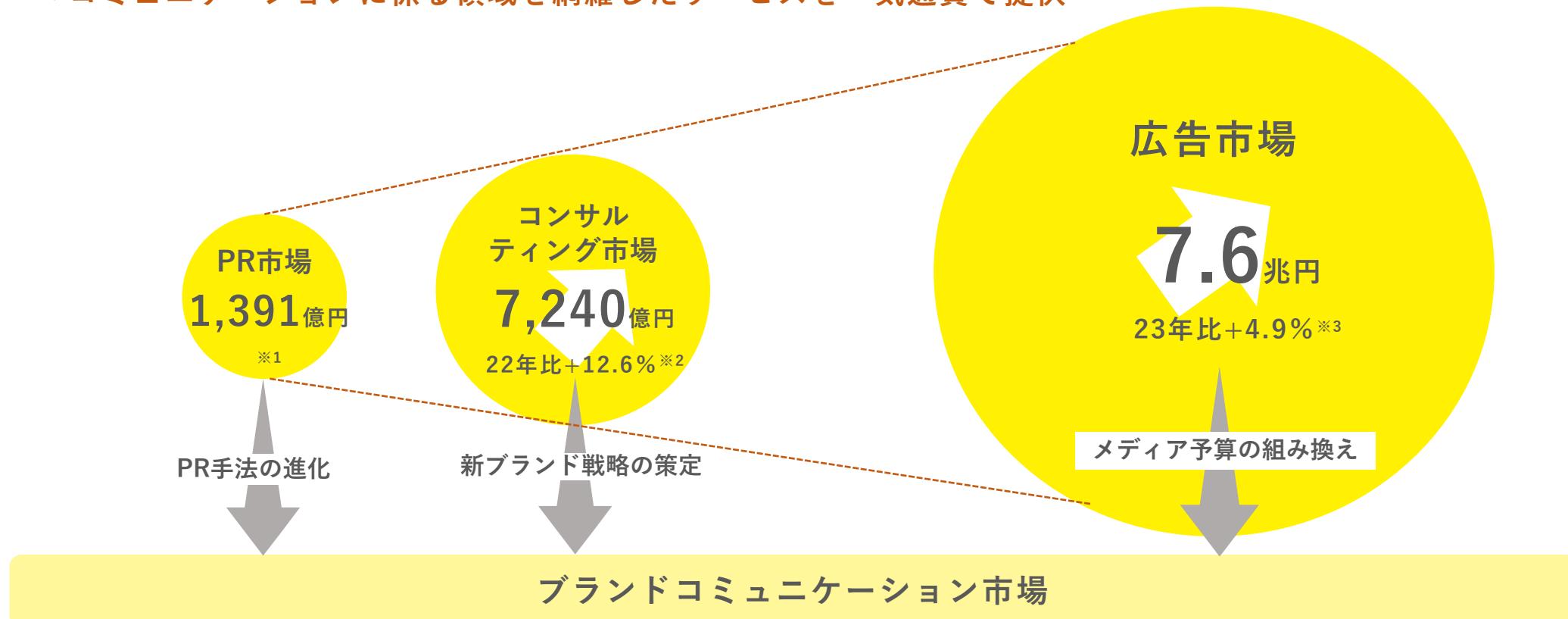
- PRとはパブリックリレーションズの略
PR会社は企業・団体等を取り巻く様々な関係者と良好な関係性を構築するコミュニケーションサービスを提供
- 外部環境の変化や事業活動の活発化を背景に、企業・団体等でコミュニケーションに係るニーズが発生
- PR会社が戦略策定、施策立案・支援を提案・受注、サービス提供後にフィーを受領



(参考資料) 当社HPにPR会社のビジネスモデルの解説を掲載しております。<https://navi.funda.jp/quiz/pr-business?ref=ssugir>

中長期の事業成長イメージ

- 価値観が変容するなか、ブランドへの共感重視やメディアの多様化、AI活用など、事業環境が大きく変化
- 従来のPRからコンサルティング、より規模の大きな広告を含むした市場を対象に事業機会を獲得
⇒コミュニケーションに係る領域を網羅したサービスを一気通貫で提供



(参考資料) ※1 25年の推計値 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会「2025年 PR事業調査報告書」 https://prsj.or.jp/association/wp-content/uploads/2025/06/PR_Companies_report2025.pdf (2025年6月25日)

※2 23年の推計値 IDC Japan株式会社「国内ビジネスコンサルティング市場予測、2024年～2028年」 <https://my.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ52854324> (2025年5月2日)

※3 24年の推計値 株式会社電通「2024年 日本の広告費」 <https://www.dentsu.co.jp/news/item-cms/2025020-0227.pdf> (2025年2月27日)

中期方針期間 成長ターゲット

- 中長期経営方針策定時、2026年6月期の連結営業利益目標を20億円に設定
- ブランドコミュニケーション事業で、売上成長と収益性向上の双方を狙う
⇒通期連結業績予想は営業利益19億円（1億円の乖離は方針策定時に想定していなかった固定費増加が影響）
第1四半期は課題としていたブランドコミュニケーション事業の売上成長と想定していた収益性の改善が進む

ブランドコミュニケーション事業

売上成長率

営業利益率

連結営業利益
(2026年6月期)

年平均 **13%**

(2026年6月期予想)
(3か年平均 + 3.4%)
概算 + 5.0%

(2025年6月期実績)
+ 12.3%

(2024年6月期実績)
▲ 6.1%

(2023年6月期実績)
—

16%程度



20 億円

19.0 億円

15.9 億円

14.6 億円

14.9%

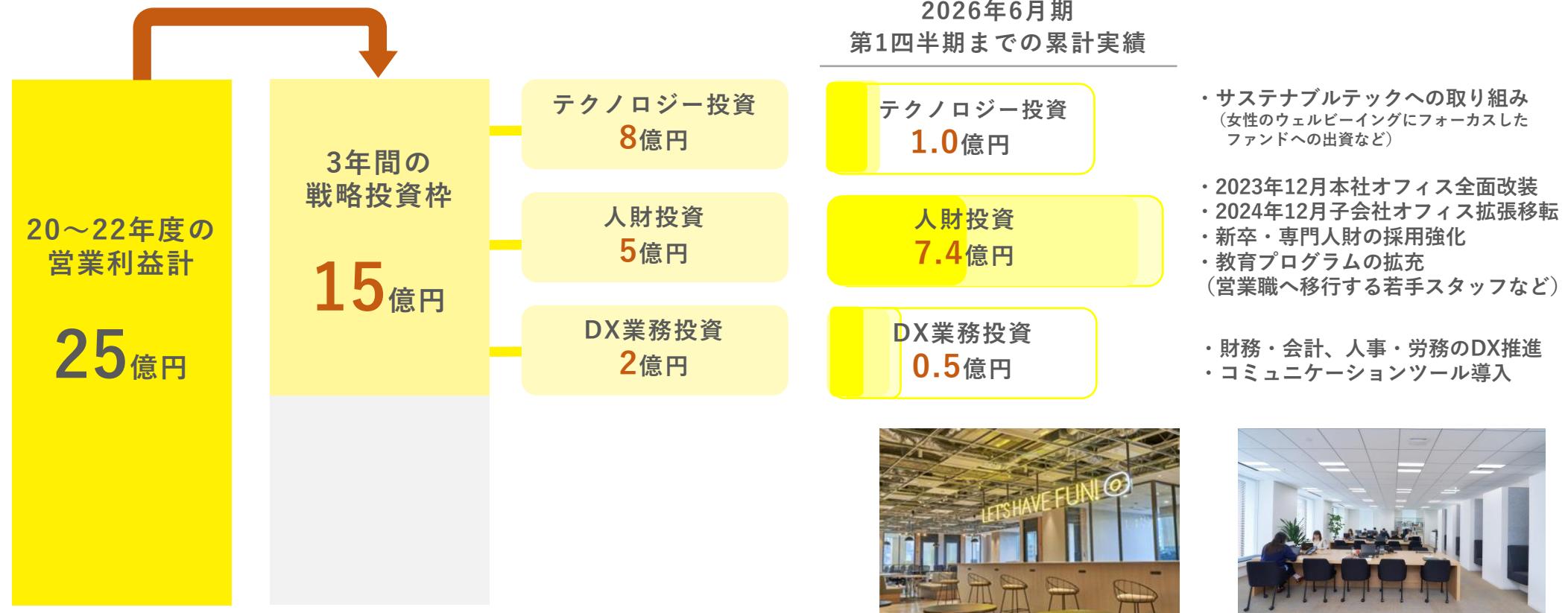
12.9 億円

【2026年6月期1Q実績】
ブランド
コミュニケーション事業
売上成長率 + 59.3%
営業利益率 19.4%

成長への戦略投資

成長に向けた戦略方針

- 2023年6月期までの3年間に創出した営業利益の6割に当たる15億円を戦略投資枠として設定
⇒人財投資に重点配分、前年までは採用と職場環境整備に注力、当年は教育や制度改定を通じて組織力を強化





クライアントとの関係性とサービスの方向性

成長に向けた戦略方針

- ブランドコミュニケーション事業の中核を担う株式会社サニーサイドアップは、2023年7月の経営体制変更、同9月の子会社3社間吸収合併完了を経て、クライアントとの関係性や提供サービスを見直す
- 2024年6月期は低採算案件・稼働体制見直しで効率改善、2025年6月期はアップセルや共同提案を積極化
⇒2026年6月期はアップセル施策の更なる推進とマーケティング戦略支援に注力、更なる効率改善を図る

クライアント開拓

統合後の変化

“クライアントリレーション”型を志向

- CMO級との関係性構築強化、イベントを活用
- 広報からマーケティング部門へアプローチ拡大

提供サービス

アップセルの推進と組織連携による提案

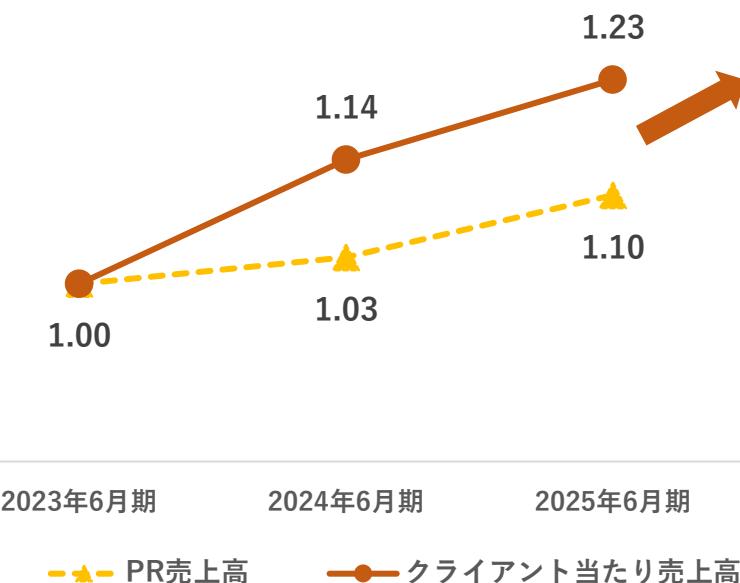
- PR施策にSNS戦略・商品企画を付加して提案
- グループ企業共同提案事例も増加

体制

専門人財の採用と教育プログラム拡充

- 新卒の継続採用に加え、専門人財の採用強化
- 若手営業職移行者育成プログラムを開始
- マーケティング専門講座を拡充

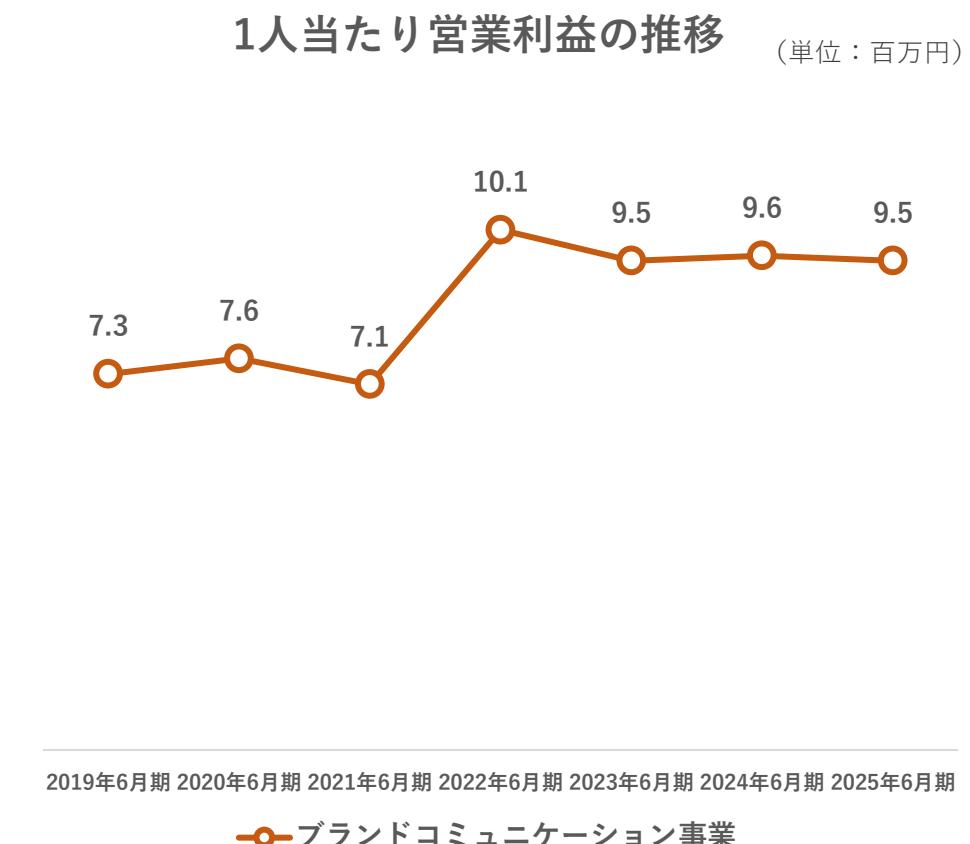
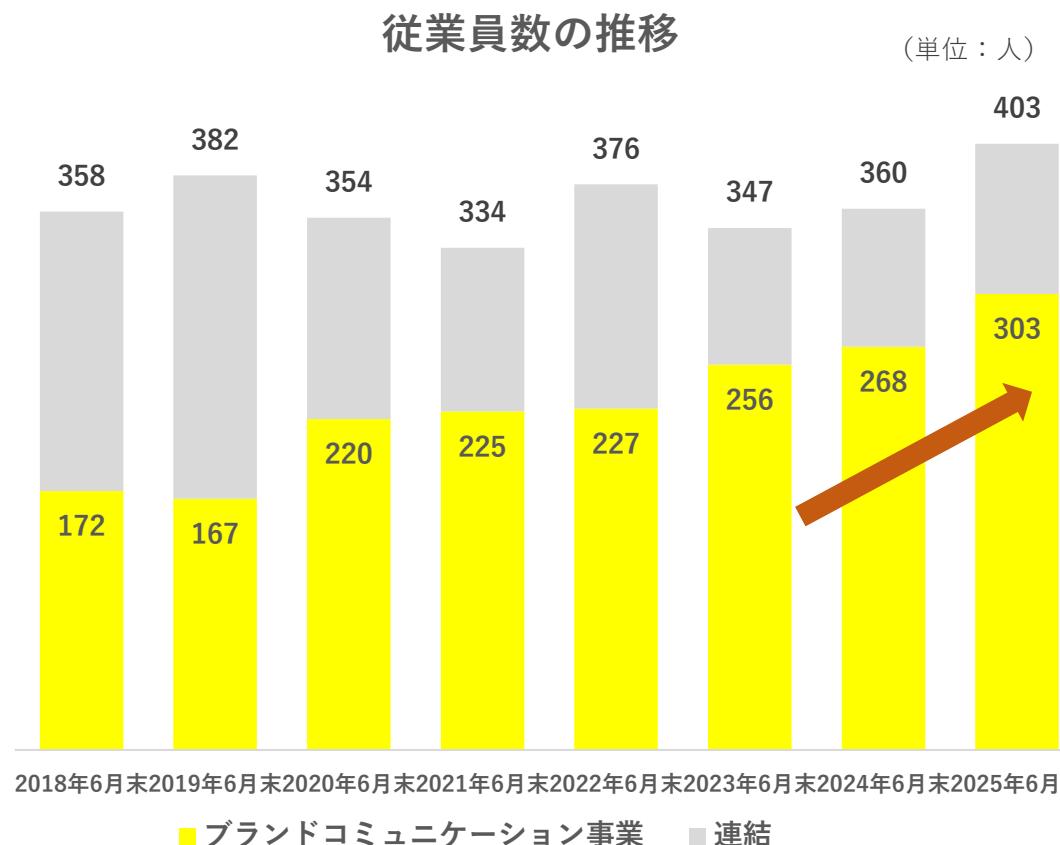
(株)サニーサイドアップのPR売上高推移
(統合前の2023年6月期=1とした場合)



成長に向けた戦略方針

人財投資の加速と生産性の向上

- 新卒・専門人財の採用を強化、ブランドコミュニケーション事業を中心に従業員数が増加
⇒特にメディア担当から営業職へ移行する若手スタッフの育成を強化、主力事業の改善を全体に波及させる



(注) 1人当たり営業利益は期中平均従業員数を基に算出しております。ブランドコミュニケーション事業の2022年6月期以前の営業利益は、旧区分を単純合算して算出しております。

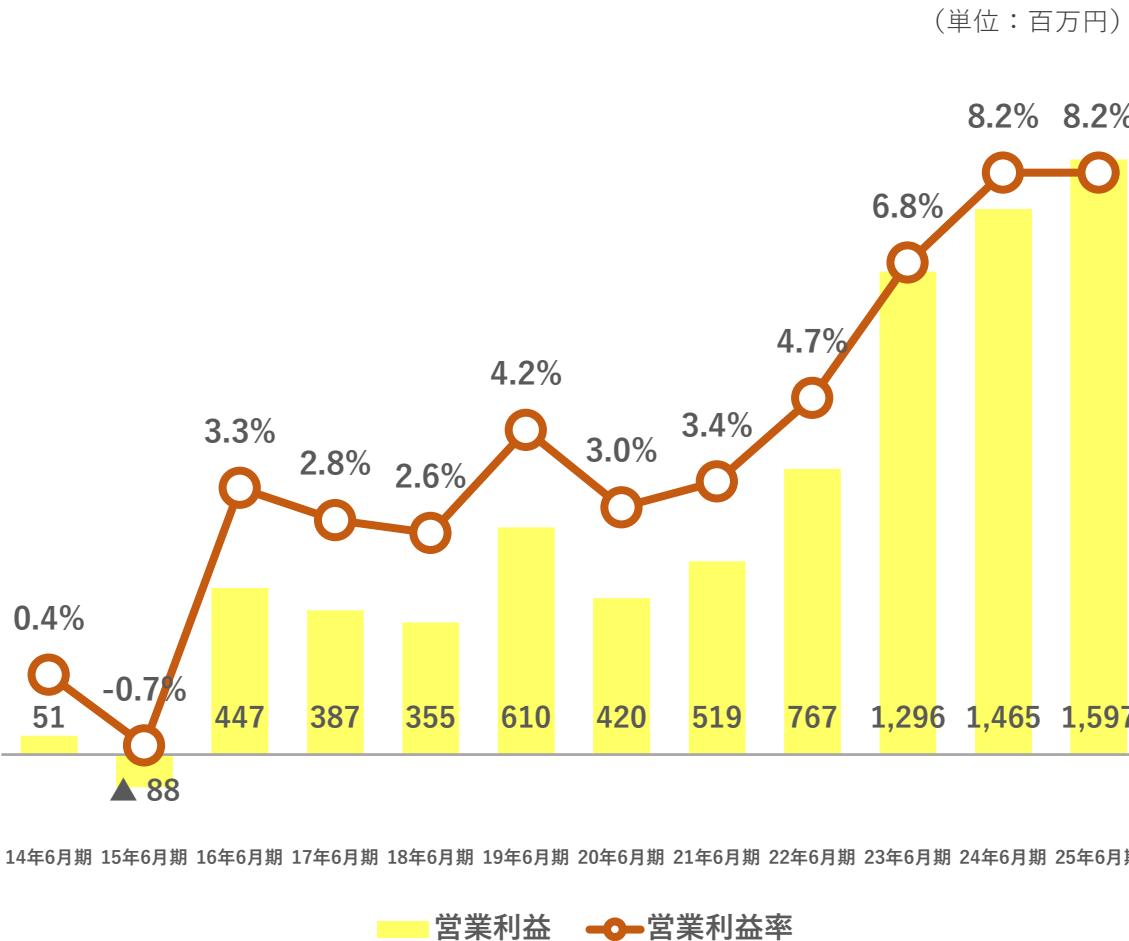
5.

Appendix

事業ポートフォリオの改善

資本コストと株価を意識
した経営の実現に向けて

営業利益・営業利益率の推移



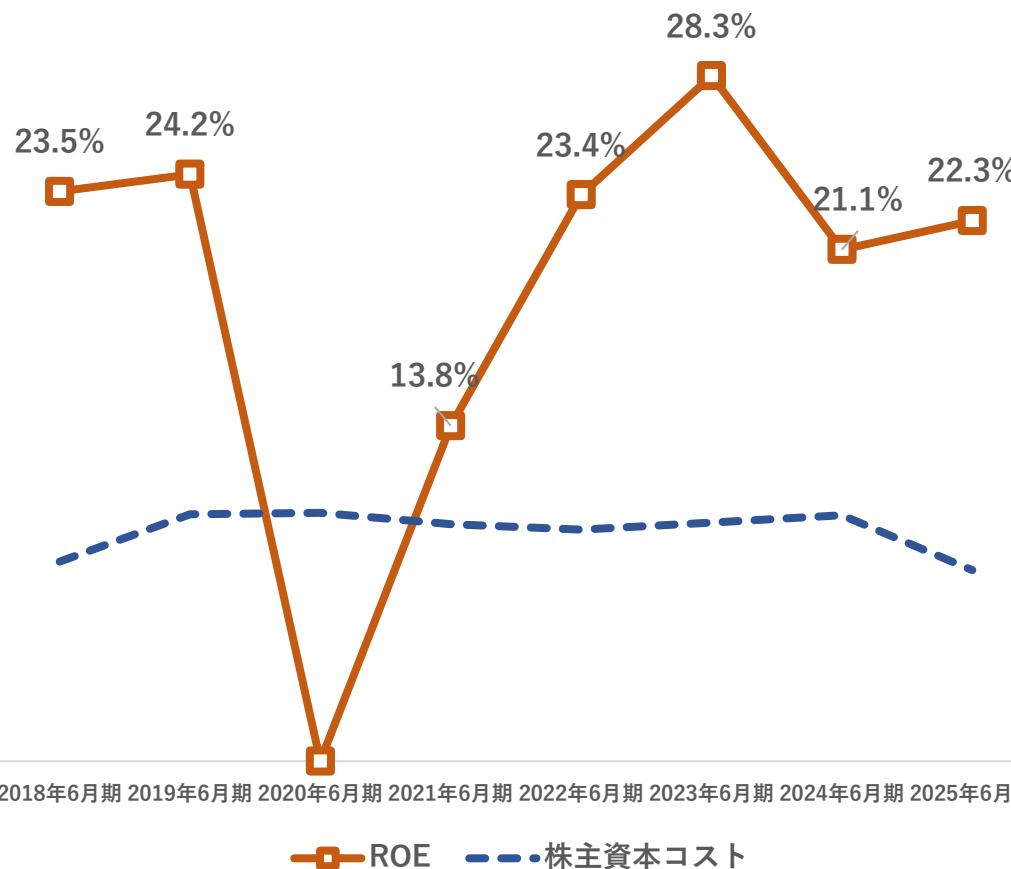
事業ポートフォリオの改善実績

2020年1月	持株会社体制へ移行	} ブランド コミュニケーション事業
2020年3月	株)ステディスタディを子会社化	
2022年6月	SUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INCを清算	} フード ブランディング事業
2022年7月	bills waikiki LLCの全出資持分を譲渡	
2023年5月	中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」策定（コア事業をブランドコミュニケーション事業として再定義）	} ビジネス ディベロップメント事業
2023年7月	株)アジャイルの全株式を譲渡	
	株)スクランブルを 株)サニーサイドアップに吸収合併	} ブランド コミュニケーション事業
2023年9月	株)ワイズインテグレーションを 株)サニーサイドアップに吸収合併	

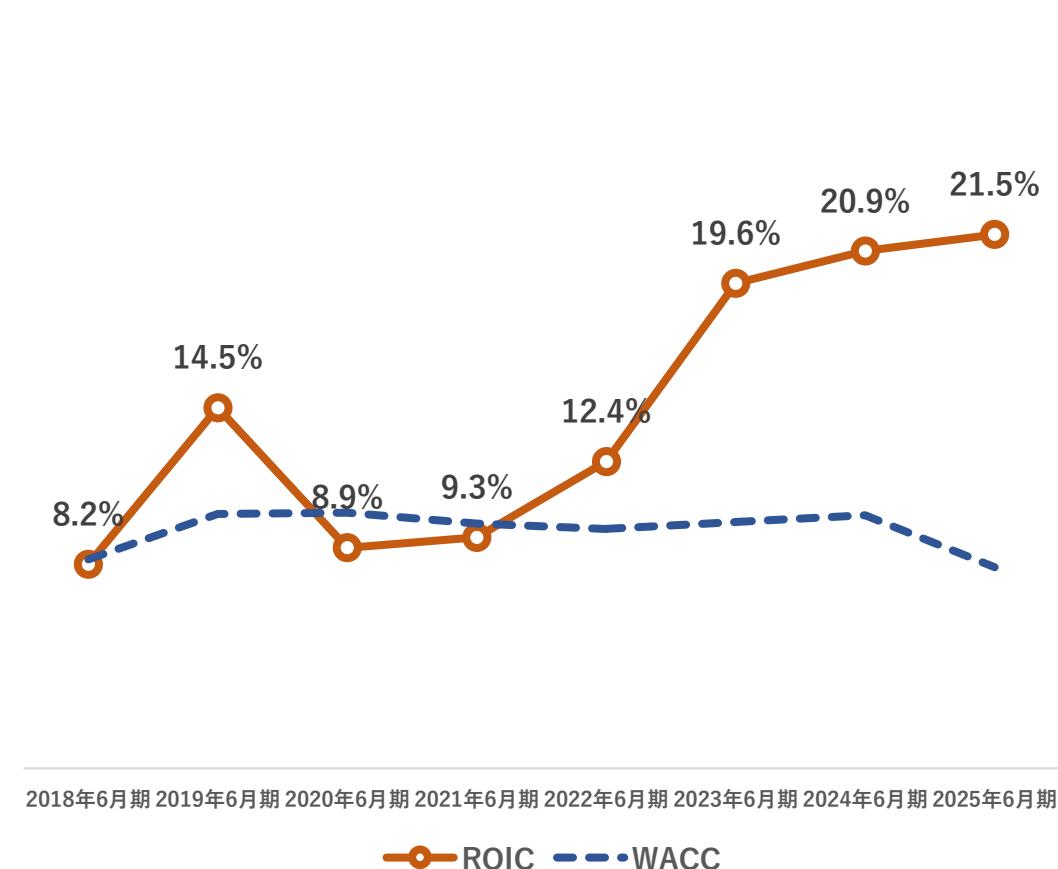
資本コストと株価を意識
した経営の実現に向けて

資本収益性と資本コストの比較

ROEと株主資本コストの推移



ROICとWACCの推移



(注) ROICはNOPAT(営業利益 × (1 - 法定実効税率)) ÷ (有利子負債 + 株主資本、期中平均)で算出しております。

11年間の連結業績ハイライト

	単位	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
業績の状況												
売上高	百万円	11,940	13,393	13,891	13,537	14,627	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908	19,587
営業利益	百万円	-88	447	387	355	610	420	519	767	1,296	1,465	1,597
経常利益	百万円	83	236	494	365	718	275	666	1,284	1,335	1,501	1,635
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	-330	-216	304	380	493	-210	298	581	884	795	948
キャッシュ・フローの状況												
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	37	24	352	757	529	549	339	1,185	846	655	2,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-91	-159	-325	738	-336	-685	-311	-274	-274	-120	-129
フリー・キャッシュ・フロー	百万円	-54	-135	27	1,495	193	-135	27	910	571	535	2,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-90	212	-92	-794	-338	705	423	-294	-744	-470	-547
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	902	1,045	995	1,696	1,559	2,135	2,587	3,214	3,074	3,169	4,639
資産の状況												
総資産	百万円	5,291	5,773	5,706	5,327	5,788	5,462	7,163	7,548	8,595	8,472	10,409
純資産	百万円	1,423	1,402	1,555	1,888	2,397	2,087	2,340	2,820	3,728	4,136	4,701
有利子負債	百万円	1,684	1,833	1,716	1,020	720	1,506	1,915	1,722	1,218	991	787
設備投資・減価償却の状況												
設備投資額	百万円	105	143	291	236	256	28	164	48	141	124	163
減価償却費	百万円	170	149	127	141	161	143	106	94	85	92	114

(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

11年間の連結業績ハイライト

	単位	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
株式の状況												
発行済株式総数	株	3,611,200	3,697,600	7,417,200	7,434,400	7,569,800	15,191,600	15,191,600	15,191,600	15,191,600	15,197,600	15,197,600
1株当たり配当金	円	10	30	10	10	10	2	6	12	15	20	22
配当性向	%	-	-	24.1%	19.4%	15.2%	-	30.3%	31.1%	25.3%	37.5%	34.6%
1株当たりの状況					*	*						
1株当たりの当期純利益額	円	-93.76	-60.43	41.57	25.85	33.42	-13.97	19.83	38.58	59.28	53.30	63.58
1株当たりの純資産額	円	371.66	343.55	198.20	120.72	153.13	135.17	151.30	178.92	238.78	266.20	304.55
経営指標												
営業利益率	%	-0.7%	3.3%	2.8%	2.6%	4.2%	3.0%	3.4%	4.7%	6.8%	8.2%	8.2%
ROE	%	-	-	22.4%	23.5%	24.2%	-	13.8%	23.4%	28.3%	21.1%	22.3%
ROA	%	1.5%	4.3%	8.6%	6.6%	12.9%	4.9%	10.6%	17.5%	16.5%	17.6%	17.3%
自己資本比率	%	25.1%	21.8%	25.5%	33.4%	39.7%	37.3%	31.8%	35.7%	41.4%	46.9%	43.7%
D/Eレシオ	倍	1.3	1.5	1.2	0.6	0.3	0.7	0.8	0.6	0.3	0.2	0.2
従業員の状況												
従業員数	人	196	260	273	358	382	354	334	376	347	360	403
生産性の状況（期中平均）												
1人当たりの売上高	千円	62,515	58,744	52,127	42,909	39,535	38,299	44,640	45,607	52,439	50,659	51,342
1人当たりの営業利益	千円	-460	1,962	1,453	1,127	1,648	1,143	1,509	2,163	3,587	4,145	4,187

(注) 1. 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

2. 2017年5月30日付で普通株式1株につき2株の割当てで株式分割を行っております。

3. 2019年7月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、1株当たりの状況(*)は有価証券報告書に基づきます。

11年間のセグメント別業績

	単位	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6	
売上高（旧セグメント）							過年度遡及	2023/6までの報告セグメント		3事業体制		(現セグメント)	
コミュニケーション事業①	百万円	5,789	5,429	5,715	6,194	7,434	8,158						ブランドコミュニケーション事業 ①マーケティング&コミュニケーション(PR)
スポーツ事業②	百万円	804	1,068	1,302	1,278	1,366	1,080	5,818	9,119	7,744	8,207	14,447	16,225 ②セールスアクティベーション
SP・MD事業③	百万円	2,313	3,531	2,588	1,451	1,234	1,389	4,984	3,644	5,489	7,178		
bills事業	百万円	2,930	3,120	4,100	4,421	4,241	3,259	3,259	2,355	2,359	2,901	3,268	3,295 フードプランディング事業
開発事業	百万円	102	244	184	191	351	205	31	236	596	669	192	66 ビジネスディベロップメント事業
計	百万円	11,940	13,393	13,891	13,537	14,627	14,094	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908	19,587 計
【小計】①+②+③	百万円	8,907	10,029	9,606	8,924	10,035	10,629	10,803	12,764	13,234	15,385	14,447	16,225 【小計】①+②
セグメント利益							過年度遡及	2023/6までの報告セグメント		3事業体制			
コミュニケーション事業①	百万円	694	666	595	715	996	1,162						ブランドコミュニケーション事業 ①マーケティング&コミュニケーション(PR)
スポーツ事業②	百万円	73	140	172	178	237	288	968	1,284	1,954	1,917	2,532	2,727 ②セールスアクティベーション
SP・MD事業③	百万円	-110	294	34	-150	2	2	514	310	344	380		
bills事業	百万円	-155	28	126	166	66	-210	-210	-293	-366	76	116	93 フードプランディング事業
開発事業	百万円	-72	-71	-25	40	59	-4	-40	110	-82	88	26	16 ビジネスディベロップメント事業
調整額	百万円	-516	-611	-515	-594	-753	-817	-810	-892	-1,082	-1,166	-1,209	-1,238 調整額
計	百万円	-88	447	387	355	610	420	420	519	767	1,296	1,465	1,597 計
【小計】①+②+③	百万円	656	1,101	802	743	1,237	1,452	1,482	1,595	2,299	2,297	2,532	2,727 【小計】①+②

(注) 収益認識会計基準等を2022年6月期の期首より適用しております。

コーポレート・ガバナンス／サステナビリティ

	単位	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
取締役会の構成（該当年度の株主総会決議後）						
計	名	8	6	6	6	6
うち男性取締役	名	7	4	3	3	3
女性取締役	名	1	2	3	3	3
女性取締役比率	%	12.5	33.3	50.0	50.0	50.0
うち取締役（社外取締役を除く）	名	5	3	3	3	3
社外取締役	名	3	3	3	3	3
社外取締役比率	%	37.5	50.0	50.0	50.0	50.0
取締役会の開催状況						
取締役会の開催数	回	20	20	20	20	18
うち取締役の平均出席率（社外取締役を除く）	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
社外取締役の平均出席率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
監査等委員会の開催状況						
監査等委員会の開催数	回	21	22	18	20	18
監査等委員の平均出席率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
女性活躍推進に関する取組状況（連結）						
管理職に占める女性労働者比率	%	-	-	44.7	44.4	44.3
労働者に占める女性労働者比率	%	-	-	62.8	61.8	62.0
男性労働者の育児休業取得率	%	-	-	100.0	0.0	28.6
労働者の男女の賃金差異（全労働者）	%	-	-	76.6	79.7	81.0



Make World Better

たのしいさわぎで明日の希望をつくる

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点での入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社サニーサイドアップグループ グループ経営管理部経営管理チーム

TEL : 03-6894-2241 mail : keiki@ssu.co.jp